

# 令和5年度あさご未来会議

## テーマC：ともにつくる多文化共生社会

### 私たちのWill「やりたい」アイデア

#### ■地域でのコミュニケーション

- あいさつ、声かけ、積極的に話す
- 野菜のおすそわけ
- 知り合いになる
- ゆっくり話す、分かりやすい日本語
- 在住外国人の母国語を学ぶ（あいさつ）
- 簡単な英語を話せるようにする

#### ■地域等での交流の場

- 気軽にいつでも交流できる場づくり（出会いの場、交流の場）
- 子どもも大人も多世代で交流できる場づくり
- 地域の運動会やスポーツで交流
- 地域行事に参加してもらう
- 料理教室の開催
- 郷土の音楽鑑賞会の開催
- 互いの文化を知る場をつくる
- 在住外国人出身の祭りを地域で開催
- 在住外国人出身の遊びを体験
- 農業体験、農作物の収穫

#### ■学校での交流の場

- 学校での在住外国人との交流の場づくり
- 地域の運動会へ参加してもらう
- 学校給食で在住外国人の郷土料理

#### ■日本での暮らしを支援

- 在住外国人の方の困りごとを把握する
- やさしい日本語を使う
- 漢字にふりがなをつける
- 日本語教室のボランティアに参加する
- 台風が来ることを知らせ、一緒に外の片付けを行う
- ゴミの出し方を支援する
- バスの乗り方を教える
- 地域のルールを伝える

### 私たちのWill「やりたい」が促進されるアイデア

#### ■多様な人たちの関わりしるを増やす

- サポーター登録制度を創設する
- 在住外国人の困りごととボランティアのつなぐしくみをつくる
- 高校生が企画等に参画しやすい環境をつくる
- 親子で交流に参加（在住外国人の大人への支援）

#### ■地域行事への参加促進

- 在住外国人の文化・料理・遊び等を伝える（発表含む）場づくり
- 地域の集いの場に参加をよびかける（企業、地域）
- 地域の情報を伝える
- 地域自治協議会や企業等が連携し場づくり

#### ■情報発信

- 多言語対応した情報発信
- 広報等をやさしい日本語で作成する

#### ■情報共有のツール

- 災害時の情報発信・共有できるツールを確立する
- LINEなどを活用し情報共有しやすい工夫
- FacebookなどSNSなどを活用
- 翻訳ツールを活用

#### ■市民の変化

- 異文化を理解し、文化の違いを受け入れる姿勢を持つ
- 在住外国人のお父さん・お母さんになる気持ちを持つ
- 在住外国人の方へ壁を作らない

#### ■在住外国人の意見を市政へ反映

- 外国人の発送を市政へ反映し、クリエイティブなまちづくりにつなげる

### Will「やりたい」が実現されたまちの状態

#### ■在住外国人との関係性

- 在住外国人と垣根がない関係
- 友だちの関係
- 気軽に相談できる関係
- 在住外国人の方が安心して暮らせる
- 在住外国人が住みやすい
- 在住外国人という概念ではなく地域の仲間
- 在住外国人が家庭や職場以外に地域でも役割や居場所がある

#### ■多文化理解

- 異国の文化を理解し合う
- お互いに認めあえる

#### ■まちの雰囲気

- 国際感覚を持つ子どもの育成
- 在住外国人だけでなく誰もが住みやすく、誰にもやさしい地域社会になる
- インターナショナルなまち
- 楽しいまち
- 活気のあるまち
- 在住外国人から選ばれるまち
- 日本人にはない発想をまちづくりに活かす